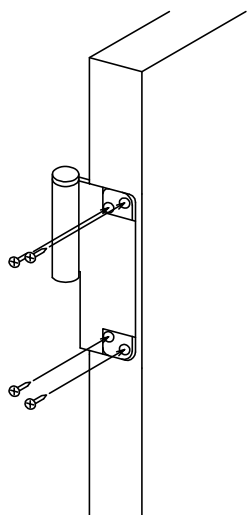


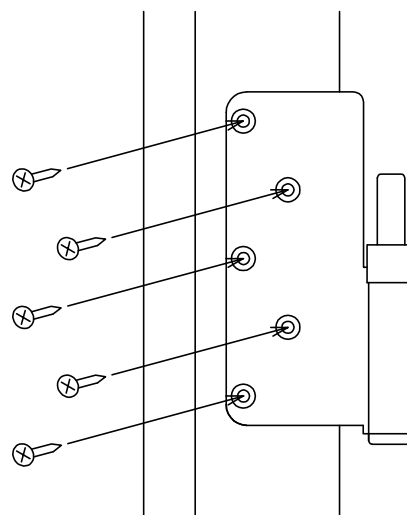
DKN調整丁番 施工手順書

1



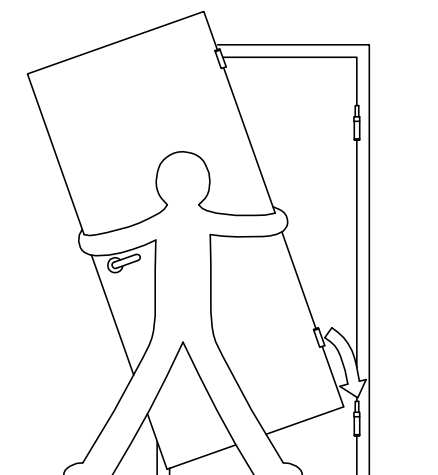
扉にドア側の丁番を取付けビスで取付けます。

2



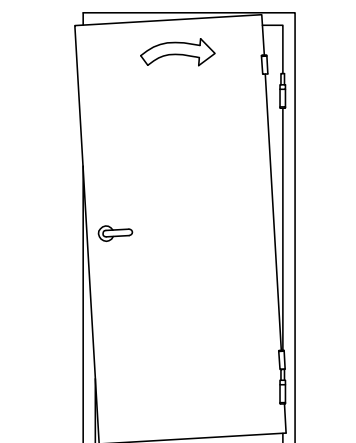
枠に枠側の丁番を取付けビスで取付けます。

3



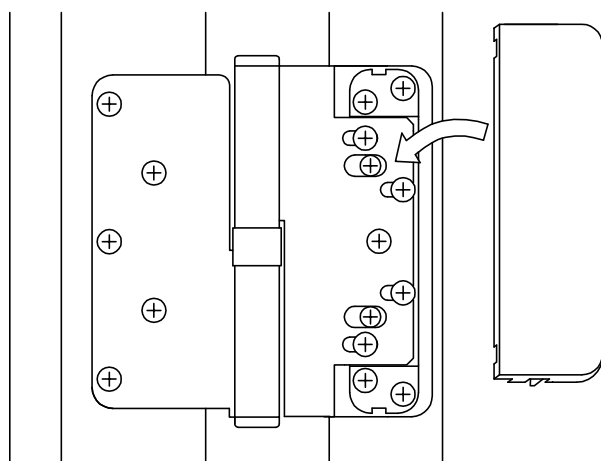
扉を持ち上げて、下側の丁番の位置を合わせます。
この時、軸に差し込まないで下さい。

4



扉全体を起こして、上側の丁番の位置を合わせ
上側と下側の位置が合ったら吊り込みます。

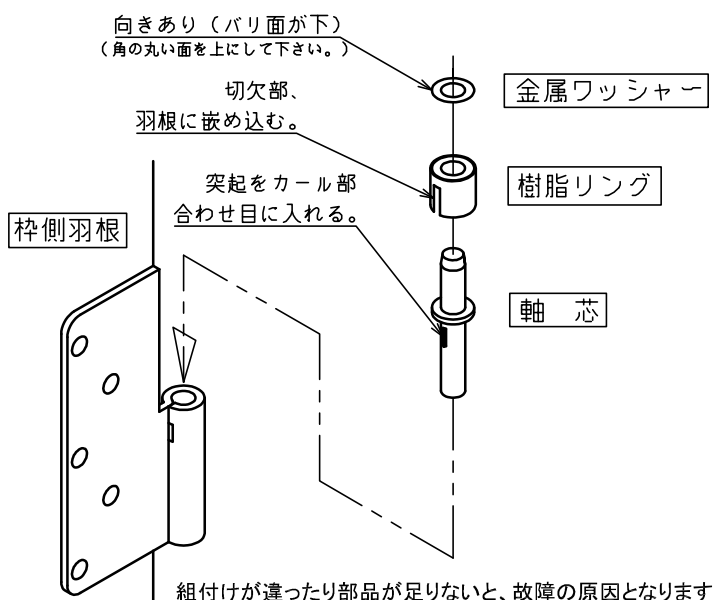
5



取扱い説明書を参考に調整を施します。
高さ調整は下側の丁番に荷重が掛かる様に
調整してください。
(調整後の固定ネジの閉め忘れに注意してください)
(調整は、別紙「取扱い説明書」参考)
調整後に化粧カバーをしっかりとはめて下さい。

扉の吊込・取外し時に軸芯やリングが外れてしまった場合

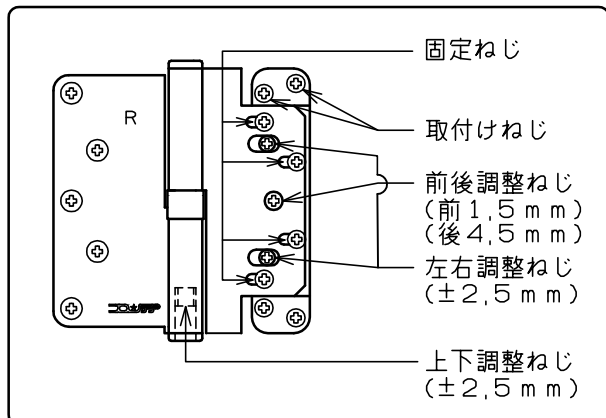
下記の順序にて部品を組み付け直して下さい。



DKN調整丁番取扱い説明書



調整部品の名称



⚠ 使用上の注意事項

- 固定ねじを緩める場合は最大2回転以内としてください。緩めすぎると扉が落下する場合があります、非常に危険です。
- 取付けねじは調整には関係ありませんので緩めないでください。誤って緩めてしまった場合は完全に締めつけてください。
- 取付けねじ以外は、電動ドライバーを使用しないでください。ネジ山が破壊され扉が落下する場合があります、非常に危険です。 固定ねじ及び各調整ねじは、手回しドライバーを使用してください。

DKN調整丁番の具体的な調整方法について

左右調整	<p>■ 扉が枠に当る</p> <p>ドア側の固定ねじを緩めます。次に、左右調整ねじを右へ回し所定の位置まで調整します。調整後固定ねじは完全に締めつけてください。</p> <p>* 扉下部が当る場合は下部の丁番で調整を行ってください。</p>	<p>■ 扉と枠の隙間が大きい</p> <p>ドア側の固定ねじを緩めます。次に、左右調整ねじを左へ回し所定の位置まで調整します。調整後固定ねじは完全に締めつけてください。</p>
	<p>■ 扉が枠からはみ出る</p> <p>ドア側の固定ねじを緩めます。次に、前後調整ねじを前側へ回し所定の位置まで調整します。調整後固定ねじは完全に締めつけてください。</p> <p>* 扉下部が当る場合は下部の丁番で調整を行ってください。</p>	<p>■ 扉の反り</p> <p>ドア側の固定ねじを緩めます。次に、前後調整ねじを左右へ回し所定の位置まで調整します。調整後固定ねじは完全に締めつけてください。</p>
上下調整	<p>■ 扉が上枠に当る</p> <p>上部・下部の丁番の上下調整ねじを左へ回しねじを緩めます。扉が枠に当たらないことを確認し、下部の丁番に荷重が掛かるように、上下調整ねじを抵抗のある位置まで上げてください。</p>	<p>■ 扉が床に接触する</p> <p>上部・下部の丁番の上下調整ねじを左へ回しねじを一度緩めます。下部のねじを右へ回し下部に荷重荷重が掛かるようにし、扉が床に接触しないことを確認できるまで上下調整ねじを上げてください。</p>